

令和3年度 事業計画について

1-1 文化財の発掘調査及び普及啓発事業(公益目的事業)

(1)埋蔵文化財の調査、保護のための発掘調査

ア 一般調査受託事業

番号	継続又は新規	事業名 (市町村名)	委託者	金額 (消費税を除く)(円)	事業内容
1	新規	令和3年度首都圏中央連絡自動車道路 (大栄～横芝)埋蔵文化財発掘調査 (多古町・芝山町・横芝光町ほか)	東日本高速道路株式会社	727,682,000	確認調査 千田の台遺跡 ほか 9遺跡 本調査 千田の台遺跡 ほか 11遺跡 整理 大ヨロ I 遺跡 ほか 2遺跡 報告書刊行 大安場 V 遺跡
2	継続	平成29年度東京外かく環状道路(市川 区間)埋蔵文化財発掘調査業務 (市川市)	東日本高速道路株式会社	6,750,000	確認調査 北下遺跡(13) 整理 北下遺跡(13)・(15)～(17) 報告書刊行 北下遺跡(13)・(15)～(17)
3	継続	更なる機能強化整備に係る埋蔵文化財 調査(2021) (成田市・芝山町・多古町)	成田国際空港株式会社	2,725,139,000	確認調査 小泉館遺跡ほか 16遺跡 本調査 小泉館遺跡ほか 16遺跡 整理 ヤマキ 山木遺跡
		合計		3,459,571,000	

イ 発掘支援受託事業

番号	継続又は新規	事業名 (市町村名)	委託者	金額 (消費税を除く)(円)	事業内容
1	継続 (令和2年度契約の繰越し)	埋蔵文化財発掘調査支援業務委託	千葉県	40,000,000	千葉県が実施する埋蔵文化財調査に係る支援業務 (令和2年度契約の繰越し)
2	新規	埋蔵文化財発掘調査支援業務委託	千葉県	320,000,000	千葉県が実施する埋蔵文化財調査に係る支援業務
		合計		360,000,000	

(2) 埋蔵文化財の出土品整理、報告書刊行

ア 報告書の刊行

番号	内 容	備考
1	首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書40－大安場V遺跡(2)－	第788集
2	東京外かく環状道路埋蔵文化財調査報告書16－市川市北下遺跡(13)・(15)～(17)－	第789集

(3) 普及事業等

ア 普及事業

番号	事 項	内 容
1	遺跡見学会	発掘調査の成果を広く一般県民や児童・生徒に公開して、発掘調査の意義や埋蔵文化財への理解と関心を深める一助とするため、調査現場での遺跡見学会を年1回開催する。調査の内容によって開催回数の変更もある。
2	出土遺物公開事業	令和3年度出土遺物公開事業として、『らくがく縄文館 一縄文土器のマナビを楽しむー』(仮称)と題した展示会を開催する。当財団が実施した埋蔵文化財発掘調査で出土した考古資料の有効活用を図るため、縄文時代の歴史上・学術上価値の高い出土品の展示・公開及び解説会・講演会・講座等を開催し、広く一般県民に歴史や文化に対する理解と認識を深める機会とする。
3	広報紙の発行	当財団の業務内容や調査成果を広く一般に紹介し、発掘調査や埋蔵文化財が身近なものであることの認識を深めるとともに、これらの重要性についての理解を図るため、広報紙を作成し学校や生涯学習施設などに配布する。 「房総の文化財」Vol.61 A4版 10,000部
4	年報の刊行	令和2年度事業の内容や成果等を「年報」として刊行する。 「千葉県教育振興財団文化財センター年報NO.46－令和2年度－」A4版 700部
5	ホームページの公開	当財団の業務内容を紹介するとともに、発掘調査の成果をホームページ上で公開する。 また、広報紙「房総の文化財」や「研究連絡誌」などの刊行物や遺跡見学会・展示会・講演会などの行事案内も紹介する。 あわせて、電子メールによる問い合わせも受け付ける。

イ 研究事業

番号	事 項	内 容
1	研究連絡誌の刊行	職員の研究成果を「研究連絡誌」として刊行する。(年2冊) 「研究連絡誌」第85号、第86号 A4版 各750部
2	調査・研究用資料の整備	埋蔵文化財発掘調査報告書等、調査・研究用資料の整備を実施する。
3	発掘調査報告書のデジタル化	発掘調査報告書をデジタル化してWEB上で公開する「全国遺跡報告総覧」への登録に向けて、当財団でもデジタル化されていない発掘調査報告書を順次デジタル化する作業を行っていく。

1-2 労働者派遣事業(収益事業)

番号	区分	事業名	実施時期	事業概要
		実施予定なし		

2 社会教育等支援事業(公益目的事業) 及び 県立施設における利用者サービス事業等(収益事業)

(1)「房総のむら」指定管理業務受託に係る事業

千葉県教育委員会からの指定を受け、房総のむら(千葉県印旛郡栄町龍角寺1028)の管理運営を行う。
新型コロナウイルス感染症対策を万全にし、来館者や職員の安全・安心を確保するとともに、来館者の満足度の向上を図る。

ア 契約期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 2,031,952千円(税込)

(内訳 H31:415,400千円 R2:400,152千円 R3:378,000千円 R4:419,200千円 R5:419,200千円)

ウ 主な業務内容

(ア) 施設等の管理・運営に関する業務

a 施設及び設備の保守・管理に関する業務

b 利用許可及び利用料金の徴収に関する業務

c 危機管理に関する業務

d 庶務・経理に関する業務

e 建造物・考古資料等の国指定・県指定文化財の
管理に関する業務

f 域内に所在する「龍角寺古墳群・岩屋古墳」(国史跡)
の管理に関する業務

g その他

(イ) 博物館事業に関すること

a 資料等の収集・保存及び活用に関する業務

b 調査研究に関する業務

c 展示事業に関する業務

d 体験事業に関する業務

e 情報提供及び広報に関する業務

f 県民と協働事業に関する業務

g 学校等との連携事業に関する業務

h 地域づくりへの支援事業

i 国・県の指定文化財の公開・活用に関すること

j 人材育成に関する業務

k 学習支援に関する業務

l その他

(ウ) 自主事業に関すること

a 体験事業に関する業務((イ)～dに含まれる業務を除く)

b 展示、教育普及活動、イベント等の事業に関する業務

c その他

エ 主な年間事業計画

事業種別	主な事業・企画名	実施予定期日	事業概要
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	【体験・実演】 農家・商家・武家屋敷・風土記の丘での体験・実演・展示	通年	農家では農作業の体験のほか、機織りをはじめとする手工芸の体験や実演、生活歳時記に関する展示を実施します。商家では、食や技に関する実演や体験、年中行事に関する展示を実施します。武家屋敷では茶道体験、年中行事に伴う展示を実施します。その他、勾玉作りや考古学講座、自然観察会などを実施します。
	【展覧会】 屋外展示「千葉の民俗芸能」	10月2日(土)～11月23日(火)	県内の各地域に伝えられ、現在でも行われている神楽や獅子舞などの民俗芸能に焦点を当て、その民俗芸能のあり方をパネルや実物資料で展示・紹介します。併せて期間中に形態や姿を再現することで、地域における民俗芸能の見直しや継承の契機となるよう各地域と連携して実施します。
	【イベント】 「春のまつり」 「むらの縁日・夕涼み」	5月3日(月)～5日(水) 8月7日(土)・8日(日)	民俗芸能や大道芸、子どもの日にちなんだ展示(鯉のぼりや鍾馗幟など)や体験のほか、伝統的工芸品の実演や販売なども行います。 屋は子供みこしや大道芸、夜は大人向けの怪談話や花火を行います。午後8時まで開館時間を延長します。浴衣の方は入場無料。栄町教育委員会・生涯学習応援団ちばと協力して開催。

事業種別	主な事業・企画名	実施予定期日	事業概要
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	「秋のまつり」	10月2日(土)・3日(日)	「実りの秋に感謝」をテーマに、秋の味覚の収穫体験やお米にちなんだ体験や販売を行います。
	「ふるさとまつり」	11月3日(水)	栄町観光協会等のふるさとまつり実行委員会との共催で、大道芸や民俗芸能の上演を行います。毎年恒例の餅まき大会も実施します。入場無料。
	「むらのお正月」	1月2日(日)・3日(月)	獅子舞や和風、羽根つきなどの昔懐かしい日本のお正月風景を展示するとともに、お正月ならではの体験を実施し、年の始まりの華やぎを演出します。和服の方は入場無料。
	「さくらまつり」	3月26日(土)・27日(日)	館内に植えられている約300本の桜の木の下で、春を感じる様々なイベントを行います。
	【講座・観察会等】		
	「考古学講座」	6月13日(日)・10月24日(日)	周辺の遺跡の発掘調査成果など考古学に関する内容の講演を行います。
	「伝統文化入門」	6月20日(日)・8月1日(日)・ 12月4日(土)・1月16日(日)	和太鼓などの伝統的な芸能を見るだけでなく体験することで、日本文化への理解を深めます。
	「子ども里山観察会」	7月10日(土)・9月25日(土)	子どもたちに身近な自然に親しんでもらうため、体験的な教室事業を行います。
	「里山観察会」	10月10日(日)・11月27日(土)	千葉県立中央博物館と連携し、房総のむらの豊かな里山環境を活かして、植物や昆虫などの自然観察会を行います。
	「野鳥観察会」	2月19日(土)	房総のむら及び周辺で見られる冬の野鳥を観察します。
	「ボランティアによる里山ギャラリー」	4月17日(土)・18日(日)、 9月18日(土)・19日(日)、 11月13日(土)・14日(日)	来館者が里山で撮影した写真に、五・七・五等の言葉(俳句・短歌)を添えて、屋外に展示します。房総のむらのボランティアが同行し支援します。
	「ボランティアによる自然観察会」	毎月第2または第3日曜日	自然ガイドボランティアによる自然観察会を行います。
	「ユニセフ・ラブウォーク in 房総のむら」	11月23日(火)	館内を会場に、参加費がユニセフ募金となるチャリティ・ウォーキングイベントを行います。千葉県ユニセフ協会との共催事業として実施します。
「教職員を対象とした博物館活用研修会」	7月30日(金)	教職員を対象に、学校教育への支援の一環として、房総のむらを学校教育で利用する場合の学習ポイントなどを説明します。	
「北総江戸めぐり」	9月20日(月)・3月13日(土)	江戸時代に栄え、今にその歴史を伝える北総の名所をめぐります。令和3年度は船橋市、野田市を訪ねます。	
「房総座(房総のむら落語会)」	6月26日(土)・10月31日(日)・1月30日(日)	房総のむらの江戸風景にあう落語を上演することにより、来館者の拡大を図ります。	
「歴史の里の音楽会」	10月9日(土)	国重要文化財旧学習院初等科正堂において、千葉交響楽団による房総のむらと季節にちなんだ室内楽の演奏会を開催します。	
利用者サービス事業 (収益事業)	利用者サービス事業		売店での関連商品の販売や自動販売機を設置して清涼飲料水等を提供します。

(2)「鴨川青少年自然の家」指定管理業務受託に係る事業

千葉県教育委員会からの指定を受け、鴨川青少年自然の家(千葉県鴨川市太海122-1)の管理運営を行う。

ア 契約期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)

イ 指定管理契約金額 558,485,000円(税込)

(内訳 R3:111,697,000円 R4:111,697,000円 R5:111,697,000円 R6:111,697,000円 R7:111,697,000円)

ウ 主な業務内容

(ア) 青少年自然の家の目的を達成するために必要な業務

- a 利用団体の受入れに関する業務
- b 利用団体の活動支援及び助言・指導に関する業務
- c 青少年教育指導者の研修に関する業務

(イ) 施設等の管理・運営に関する業務

a 施設・設備等の維持管理に関する業務

(a) 施設保守管理業務

(b) 設備機器の保守管理業務

(c) 自家用電気工作物

(d) PCB含有機器の保管

(e) 備品等管理業務

(f) 施設内外の清掃及び整備業務

(g) 危機管理業務車両管理業務

(h) 宿直業務

(i) 廃棄物処理業務

(j) 外構・植栽管理業務

(k) その他

b 施設の利用(利用の許可を含む)に関する業務

c 施設利用料の徴収に関する業務

d 利用者への食事の提供に関する業務

e 利用者へのサービスの提供に関する業務

f その他

(ウ) 主催事業に関する業務

エ 主な年間事業計画

事業種別	事業・企画名	実施予定期日	事業概要
社会教育等 支援事業 (公益目的 事業)	春を満喫！房総ハイキング	4月10日(土)	春の暖かい気候を感じながら、生きものや植物の春の様子を観察します。
	春が来た！アウトドア料理を作ろう	4月24日(土)	ダッチオープンを使ってローストチキンをつくり、アウトドア料理をみんなで楽しみます。
	海と森をつなぐみち	5月5日(水)	鴨川市郷土資料館の主査を講師に招き、日蓮聖人生誕800年にちなんだ寺社の説明をうけながら、海と森をつなぐみちにチャレンジします。
	磯の生き物を観察しようIN松島	7月10日(土)	千葉県立中央博物館分館海の博物館の研究員を講師に招き、磯観察を通して海や磯の生き物への関心を高めます。
	親子でスキルアップシーカヤック	7月22日(木)・23日(金)	鴨川青少年自然の家の特色であるシーカヤックを通して、マリンスポーツの楽しさと親子の絆を深めます。
	カブト虫やくワガタ虫を探そう	7月29日(木)・30日(金)	甲虫等の採集を通して自然とふれあい、自然や環境を大切にしようとする心を養います。
	真夏のウォーターズプラッシュ2021	8月10日(火)	塩ビ管の特性を活かしたオリジナルな水鉄砲を作り、その水鉄砲を使ってゲームを楽しみます。
	ブルーダック野外活動研修会	8月19日(木)	マリンスポーツ(シーカヤック)と野外炊事(カレー、飯盒炊飯)を通しての体験学習等で指導者の指導力向上を図ります。
	初心者サーフィン教室	8月23日(月)	サーフィンについての基礎的知識と技能を身に着け、実際に波乗り挑戦します。また、海辺の環境整備について関心をもってもらおうと共に、クリーン活動を実施します。
	シーカヤック大冒険～外房の海～	8月29日(日)	外房随一の絶景ポイントとも言われる鴨川松島！普段陸から見る鴨川松島をカヤックに乗り、海の上から堪能します。鴨川松島の歴史に触れながら、シーカヤックツーリングを楽しみます。
	シーカヤック大冒険～東京湾～	9月5日(日)	カヤックで滑走しながら見る海の中には冒険がいっぱい！みんなで探検隊になり、東京湾にはどんな動植物がいるのか、再発見をしていきます。
	ウミホタル観察会	10月9日(土)	館山の海に生息するウミホタルの採集や観察、発光実験等をとおして、南房総の自然の素晴らしさを体感するとともに、環境保護に対する意識を高めます。
	食欲の秋！アウトドア料理を作ろう	10月16日(土)	ダッチオープンを使ってナスとトマトのミートグラタンをつくり、アウトドア料理をみんなで楽しみます。
	第9回ブルーダック子ども文化展	11月14日(日)	鴨川青年の家の利用団体及び安房地域の園児、小中学生から絵画や書写等の作品を広く募集展示し、受賞者を表彰します。
	第33回 鴨青まつり	11月14日(日)	子どもから高齢者まで年代を超えた様々な方が鴨川青年の家に集い、「鴨川青年の家まつり」をともに運営したり、楽しんだりすることにより、相互の理解を深めます。
	晩秋の房総の山を歩こう	11月27日(土)	地元ガイドの説明を受けながら楽しく歩き、晩秋の房総の山を満喫します。
	ブルーダック海の宝探し	12月12日(日)	ビーチコーミングをすることによって海の素晴らしさや楽しさを伝え、自然の大切さに気づき環境を大切にしようとする態度を養います。
	お正月を彩る ミニ門松づくり	12月19日(日)	手作りのミニ門松を作り、新年の健康と幸せを願います。
	第3回鴨青オリパラピック	1月13日(木)	スポーツを通して、チームで協力することの大切さや人との触れ合い、コミュニケーションを取る楽しさを学び、地域交流を深めます。
ペットボトルロケットコンテストin鴨青	1月23日(日)	手作りのおもちゃ作りを通して創造力を培い、ペットボトルロケットをつくりながら親子で触れ合い、コミュニケーションを豊かにします。	
スキルアップ卓球教室	2月6日(日)	経験豊富なコーチ陣のもと、卓球の技術向上を図ります。	

事業種別	事業・企画名	実施予定期日	事業概要
	太平洋から昇るカノープスを探そう	2月25日(金)	多くの民話が残っているカノープス(布良星)を探したり、2月の星空を観察することで、鴨川の自然の素晴らしさを体感します。
	里山サイクリングを体験しよう!	3月6日(日)	普段何気なく通ってる道や、普段通らない道をe/バイクで自然を体感しながら里山を走り抜く楽しさを体感する。普段見られない鴨川の景色を楽しみながら、歴史や里山の動植物に触れ、新たな発見を参加者全員で共有します。
	カヤック大冒険～みずうみ編～	3月21日(月)	陽春の亀山湖を桜を愛でながら、カヤックツーリングを行う。広大な湖に覆いかぶさる木々と水面に突き出た立ち木をカヤックを上手にコントロールしながら、探検する楽しさを体験します。
	ブルーダック子ども教室	通年	地域の子ども会や学童クラブへの支援事業です。各会に所属する子どもたちが様々な活動を体験することにより、知識や技能を身に付けるとともに好ましい人間関係づくりを学びます。
	ブルーダック土曜スクール	通年	地域の土曜スクールへの支援事業です。子どもたちが様々な活動を体験することにより、知識や技能を身に付けるとともに好ましい人間関係づくりを学びます。
	ブルーダック旗争奪親善少年ソフトボール大会	未定	鴨川市内・市外のソフトボールチームの親善試合を通して、技術の向上や近隣地区の子ども同士の親睦を深めるとともに、青少年の健全育成の一助とします。
	この本だいすき 房州鴨川セミナー	未定	児童文学作家や絵本作家を招き、良い本との出会いが、豊かな心の成長をはぐくむことについて、教師、父母と学び合います。
	地曳網体験とユニセフ学習会	未定	世界の子どもたちの支援活動を行うユニセフについての学習会を行うとともに、地曳網体験を通して豊かな心の育成を図る場とします。
	ピアノで迎えるクラシック音楽	未定	生のクラシック音楽の演奏を市民に提供する場を作ることで、鴨川青年の家が文化芸術の振興の一端を担います。
	第51回鴨川市文化祭	11月14日(日)～16日(火)	市民が芸術文化に親しみ、参加する機会を提供し、創作活動、鑑賞活動の普及奨励に資するため、市民から作品・資料等を募集し、これを市内公共施設に展示して、広く一般市民に公開します。
	セカンドスクール豊かな体験・確かな学び	5月6日(木)・7日(金)	普段学校ではなかなかできない体験学習を計画し、自然体験や調査・発表・交流活動などを通して、充実した学びの場とします。
利用者サービス事業 (収益事業)	利用者サービス事業		利用者の利便性の向上を図るため、自動販売機を設置して清涼飲料水等を提供します。

3 千葉県スポーツ振興基金の管理運営事業(公益目的事業)

千葉県スポーツ振興基金の運用益による安定した継続的な財源の下、県内のスポーツ団体等への助成を通じ、千葉県の生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図る。

事業名	事業概要			
千葉県スポーツ振興基金の 管理・運営	本県のスポーツ・レクリエーション振興を図るため、千葉県スポーツ振興基金の管理・運営及び助成事業に関する業務を推進する。			
	(1) 令和2年度末 造成見込額	1,240,826 千円		
	(2) 令和2年度助成事業積立資産見込額	4,378 千円		
	(3) 令和3年度造成目標			
	記念品付き募金(クオカード)	1,038 千円	※3,000(収入見込)-	1,962(支出見込)
	自動販売機手数料	423 千円	※593(収入見込)-	170(支出見込)
	基金協力自動販売機による寄附 他	192 千円	※全額造成	
	合 計	1,653 千円	※3,785(収入見込計)-2,132(支出見込計)	
	(4) 令和3年度助成金			
	千葉県スポーツ協会	3,190 千円		
	千葉県レクリエーション協会	1,070 千円		
	千葉県スポーツ推進委員連合会	1,070 千円		
	市町村(27件)	4,320 千円		
	千葉県障がい者スポーツ協会	340 千円		
	総合型地域スポーツクラブ(11件)	780 千円		
合 計	10,770 千円			
(5) 会議				
千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会幹事会(年1回・4月)				
千葉県スポーツ振興基金募金推進委員会(年1回・5月)				
千葉県スポーツ振興基金審査委員会(年1回・12月)				